

本祭に向けて木造り



山出しまで1週間を切った3月27日、木造り作業が曳き出し地点の綱置場で行われました。

新型コロナウイルス感染予防のためトレーラーでの運搬という前代未聞の寂しい山出しとなりますが、それにもめげずに引き継がれてきた技術を若い世代に継承することに重きを置き、各係が係長の指示のもとに若い力を引き出し、ベテランから若手までがみんな力で合わせて一連の作業を行い、4月2日の山出しを待つばかりとなりました。



仮置き場で出番を待つ前宮四之御柱

本祭に向けて急ピッチで準備

前メドは3対 各地区で用意

今回の御柱祭で使用する前メドは3対後メドは2対です。
前メドは各地区で1対ずつ用意します。後メドは3地区合同で4本伐採して、落臼で1対、本郷と境で1本ずつを作成します。

3月6日で「まん延防止等重点措置」の適用が解除され、3月27日の木造り、4月2日の送り出しに向けて急ピッチで準備が進められています。

3月13日には各地区で前メドの伐採皮剥きなどの作業が行われました。これから平日の夜も利用して、足掛け玉縄巻きなどの作業が行われます。



てこ棒に 「諏訪大社」焼き印

小槌子係は、御柱祭で使用するてこ棒56本と大てこ棒6本に「諏訪大社」の焼き印を押す作業を、3月13日に上社本宮で行いました。
てこ棒は曳行で御柱の方向を操作する

道中で、すべてに番号を振り、誰が使用するかを警報器に届け出ます。
山出しの曳行が中止となり、トレーラーで運搬するため小槌子係の活躍する場面が少なくなってしまうましたが、里曳きでは小槌子係の皆さんが大活躍することを期待しています。



建方衆 安全祈願と現地確認

前日に引き続き東三地区の建御柱を請け負う富士見鉄工関係者と大総代は、3月12日に上社本宮で安全第一で滞りなく無事に前宮四の建御柱ができるよう安全祈願を行いました。

五味幸太郎大総代は「みんなが心を一つにして作業が無事に進められるように」、小林弘幸社長は「安全を第一に考え、心で建てたい」と話していました。
この後、前宮で現在の前宮四之柱を基

点に測量機盤を使って引付け位置、足場や綱を置く位置などを確認していました。



氏子相互の 安全・安心・健康を祈願

本造りを控え、各係が急ピッチで山出し祭の準備を行っています。

各係が安全に作業を進め、里曳き、建御柱まで携わるすべての氏子が安全、安心、健康で御柱祭を終わることができるよう、3月20日に上社前宮で大総代、正副幹事長、係長、事務局による安全祈願が行われました。

当初の予定では副係長、御頭郷総代全員で行う予定でしたが、富士見町内で新型コロナウイルス感染者が急増していることから、急ぎよ参加者を限定しての安全祈願となりました。

係長による 里曳きの現地踏査

安全祈願の後、係長による里曳きの曳行ルートの現地踏査が行われました。当初は関係する正副係長で行う予定



でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により係長に限定して、御柱屋敷から前宮の建て位置までの曳行ルートについて確認していました。



山出し目前

綱置場へ移動 御柱木造り



3月25日に仮置き場において、上社大総代の皆さんによる御柱搬出の準備と整理が行われました。



3月26日に仮置き場から綱置場へ御柱が運ばれました。あいにくの雨の中、斧方係長の指示のもとに斧方衆により墨入れ作業が行われました。



3月27日、山出しに向けて木造り作業が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業人数を100名以内に制限して、各係ごとに交代しながら作業に当たっていました。



メドに飾られる横断幕

山出し、里曳きの日程等を説明

3月11日に東三地区の区長・氏子総代会にお集まりをいただき、区長・氏子総代会合同会議がご事公民館で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大により、4月2日から予定されていた山出しは氏子による曳行は諦め

トレーラーで御柱屋敷まで運搬することについて、決定までの経緯と内容を報告して理解と協力をお願いしました。

今後について、山出しに当たり仮置き場から綱渡場への移動(3月26日)、木造り(3月27日)、



里曳きについては、2日目(5月4日)に綱渡りから前宮への曳行、そして引付けから冠落しまでを行い、3日目(5月5日)に午前9時から建御柱を行うという現時点で決定している日程が説明され、里曳きに参加する役員と係員の取りまとめをお願いしました。

なお、従来の里曳き祭ができることを前提に氏子の曳き子募集を行います。が、諏訪大社大総代会ガイドラインでは感染レベル4以上で曳き子の参加は不可となっており、感染状況の推移を見ながら4月中旬頃を目途に参加の可否を決定します。

また、昨年度の会議で承認いただいている収支予算について、新型コロナウイルス

ル感染拡大により計画されていた本祭の実施内容が大きく変更されていることに伴い、減額修正案が提案され承認されました。

富士見町内で新型コロナウイルス感染者が急増しています 基本的感染予防対策の徹底を！

- ☆ 感染が疑わしい人は自主的に参加しない
- ☆ 感染しても無症状の場合もあるので要注意
- ☆ ガイドラインに沿って基本的感染対策を行う
- ☆ 健康チェック調査表により自己管理を



富士見町木遣り保存会では、山出しの前に3月21日に東三地区と富士見地区の木遣り師が集まり、仮置き場で木遣りを奉納しました。

山出しの曳行がトレーラーによる運搬となり、山出しで大勢の氏子に向かって鳴くはずだった木遣りを、東三地区は前宮四之御柱の前で、富士見地区は本宮四之御柱の前で、御柱への感謝と今後の安全無事を願って、木遣り師一人ひとりが交互に心を込めて、それぞれの御柱と御小屋山に向かって強く高らかに鳴き響かせていました。

山出しのトレーラーでの運搬は偶然にも東三地区が担当する前宮四之御柱と全沢・富士見地区が担当する本宮四之御柱は、並んで1台のトレーラーに積み込まれて御柱屋敷へと向かいます。

仮置き場で木遣り奉納

富士見町木遣り保存会

令和4年御柱祭
東三地区氏子会 (本郷・落合・境)
<http://r4h3.www2.jp>

